

議員の権限

議員発議

豊後大野市議会委員会条例の一部改正について

公立おがた総合病院と大分県立三重病院との統合により、公立おがた総合病院から豊後大野市民病院へ名称が変更されることに伴い、所要の改正を行うもの。

「保険でより良い歯科医療」の実現を求める意見書

歯や口腔^{こうくう}を健康な状態に保つことは国民医療費節減に役立っている。

しかし、平成18年の診療報酬改定では、全体で1.5%マイナス改定で歯科診療報酬の抑制となっている。

歯科医師等の労働環境も一段と厳しくなり、将来の歯科医療確保^{あや}が危ぶまれる状況^{おちい}に陥っている。

このことは、多くの国民の健康維持に支障をきたすだけではなく、医療費節減にも逆行する。

よって、保険でより良い歯科医療が行えるよう国の関係機関に対し意見書の提出を行うもの。

「子供たちの命を守るため「ヒブワクチン、小児肺炎球菌ワクチン、子宮頸部ガンワクチン、水痘ワクチン、おたふくワクチン」の定期接種並びに無料化を求める意見書

小児の最も重篤な病気に細菌性髄膜炎があり、その原因の75%がヒブと肺炎球菌によるものである。また子宮頸部ガンはヒトパピローマウイルスが原因。

水痘、おたふくもワクチンがあり、安全性と有効性が確認されている。

日本では上記5種の予防接種が定期予防接種にならず任意の有料であるため費用負担が大きい。

よって、定期接種化並びに無料化について国の関係機関に対し意見書の提出を行うもの。



決算認定について提案理由の説明をする市長（左）
決算審査意見を述べる赤嶺憲正代表監査委員（右）



決算特別委員会の様子（上）
委員長を務める首藤議員（左）

い
ずれも慎重審査
の結果、認定す
べきものと決定し、27
日の本会議で採決の結
果、可決（認定）され
ました。

平成21年度

決算を 認定

平 成21年度の決算
認定（一般会計・
特別会計・上水道・公
立おがた総合病院）に
ついては、特別委員会
を設置し、9月21日、
22日、24日の3日間で
審査を行いました。

基金(貯金)

一般会計

基金名	20年度末現在高	21年度末現在高
財政調整基金	19億5,522万8千円	27億2,283万9千円
減債基金	12億6,777万1千円	12億7,093万1千円
その他特定目的基金	71億1,348万4千円	74億5,885万5千円
その他定額運用基金	6億8,844万2千円	6億8,784万4千円
合計	110億2,492万5千円	121億4,046万9千円

基金(貯金)

特別会計

基金名	20年度末現在高	21年度末現在高
国民健康保険基金	5億 199万9千円	3億5,335万円
国保直営清川診療所基金	1,300万4千円	1,300万9千円
介護給付費準備基金	8,319万円	9,341万3千円
農業集落排水事業基金	1億3,591万9千円	1億1,989万4千円
公共下水道事業基金	2,546万1千円	2,283万5千円
高額療養費貸付基金	500万円	500万円
出産資金貸付基金	300万円	300万円
浄化槽整備推進事業基金	579万4千円	486万6千円
簡易水道事業基金	9,575万2千円	9,193万円
介護従事者処遇改善基金	3,388万3千円	1,323万円
合計	9億 300万2千円	7億2,052万7千円

地方債(借金)

一般会計・特別会計

会計名	20年度末現在高	21年度末現在高	
一般会計	339億6,682万8千円	316億7,715万1千円	
特別会計	農業集落排水	14億7,365万1千円	14億3,194万9千円
	上水道	8億4,038万8千円	8億 740万7千円
	公共下水道	6億3,543万2千円	6億 935万8千円
	浄化槽施設	9,571万4千円	9,183万9千円
	簡易水道	20億7,433万3千円	19億1,461万2千円
公立おがた総合病院	32億3,354万円	31億3,974万5千円	
合計	423億1,988万6千円	396億7,206万1千円	

一般会計

歳入
285億6,389万4,586円
歳出
267億3,593万4,800円

特別会計

国民健康保険
国民健康保険直営診療所
介護保険直営診療所
老人保健
後期高齢者医療
介護保険
農業集落排水
公共下水道
浄化槽施設
簡易水道

歳入
121億9,148万683円
歳出
119億3,648万5,713円

上水道

歳入
2億7,234万2,939円
歳出
2億9,596万5,045円

公立おがた総合病院

歳入
30億7,027万3,273円
歳出
33億8,710万6,203円